

## 凡 例

### < 調査 >

1. 基本的には、公文書、判決文、要請書、調査報告書、書籍等の文献の調査を中心とし、関係者の証言については、確たる証拠が伴わないものは参考にとどめた。
2. 旧軍飛行場の数  
本調査結果では16カ所となっている。(53頁参照)

### < 参考文献の引用等 >

1. 多くの文献を引用あるいは要約しているが、基本的には原文のまま引用あるいは原文に忠実に要約した。
2. 引用あるいは要約した文献において語彙の誤用あるいは事実認識の錯誤と思われる箇所は「ママ」と注記した。
3. 「第2章第1節沖縄戦と旧軍飛行場」で引用あるいは要約した文献において、特に本報告書において個人名をあげる必要のない人物名については、職位あるいは「某」で置き換えたものがある。

### < 用語 >

1. 旧軍飛行場用地については、「収用」や「接收」あるいは「売買」等の用語が使われているが、本文中の表記は基本的には「取得」で統一した。ただし、引用文献内のそれに類する用語はそのまま生かした。
2. 「嘉手納基地土地所有権確認等訴訟」は「嘉手納裁判」と略称した。

### < 年号 >

1. 年号の表記は基本的には元号を優先させ、必要に応じてカッコ内にて西暦を表示した。
2. しかしながら西暦の方が理解を容易にするときは、西暦を優先させた。

### < 注記 >

1. 本文中の語彙において必要なものに注記を施した。
2. 注記は、語彙の肩に番号を付し、その記載頁の下部に記載した。
3. 注記の連番は章毎に1から改めた。